

「株」ブロードが提案!!

レジリエンス向上のための実践的アプローチ

2024年2月22日、J A 共済ビルのカンファレンスホールで「変化し続ける企業環境におけるビジネスレジリエンスの向上」をテーマにした特別講演が(株)ブロードの主催で開催された。最新ビジネスの生命線を握るソリューションを詰め込んだセミナーに会場には150余名が集まった。DXの推進にともない高度にIT化したあらゆる企業にとって必見セミナーとなった。

事業継続性の確保と ビジネスレジリエンスの重要性

「ビジネスレジリエンス」とは、予期せぬリスクに直面した際に、迅速に事業を回復し、継続させる企業や組織の能力を意味する。とくに、現代の企業はデジタル変革(DX)のなかでITに大きく依存しており、これらのシステムをいかに継続的に稼働(可用性)させるかが重要に

なっている。ところが、企業が利用する多くのシステムは複雑で管理が難しくなっていて、あらゆるIT所でのトラブルがシステム全体を止め、企業活動や国民生活に大きな影響を与えることも珍しくない。

さらに、多くの企業や組織ではセキュリティやシステム運用に必要なIT専門の人材が不足し、計画の策定やその有効性の検証テストを実施することが困難になっている。「そうした課題を抱える企業や組織のシステム管理者はかぎられたリソースのなかで不安を抱えながら日々の運営を行っているはず」と、この企画を主催した(株)ブロードの沼田貴寿氏は話す。サイバーセキュリティをテーマにした「ビジネスレジリエンスの向上」という、最新ビジネスの生命線を握るソリューションを詰め込んだセミナーは時機を得た試みだった。

DX時代の持続可能な成長戦略 レジリエンス向上がカギだ!!

このセミナーではまず、(株)アイ・ティ・アールのシニア・アナリストである入谷浩氏が登壇。題して「DX時代の持続可能な成長戦略・企業レジリエンスを高めるテクノロジーとアプローチ」。サイバーレジリエンスとシステムレジリエンスをキーワードに、組織のシステムが停止してしまうことが経営に大きな打撃を与えかねないことを警告。そうした事態から迅速に回復して影響を最小限に抑え、事業継続性を高めるには何をすべきかを語った。そして、たんにリスクを未然に防ぐだけでなく、リスクに曝された場合にその影響を軽減し、迅速に復旧、さらには組織として成長するためにレジリエンスの向上が重要だと力説していた。

「落ちない」システムを実現!! 米国Neverfail社 「コンティニューエンジン」

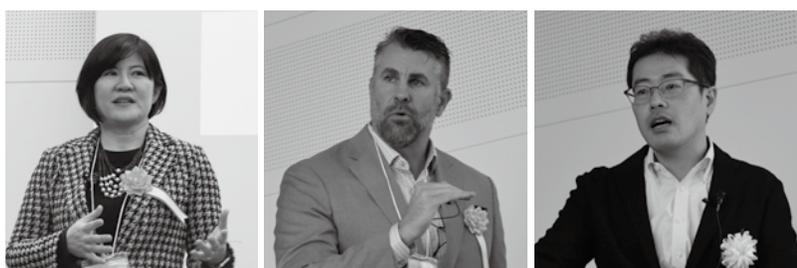
その後、特別講演でトップに登壇したのは、米国Neverfail社のCEOであるブライアン・ヒールホルツァー氏。アプリケーションレベルでの高い可用性の維持を自動化することでビジネスの「継続性」を担保するコンティニューエンジンソリューションを紹介。同社のコンティニューエンジンソリューションはダウンタイム(サービスが利用できない時間)が許されないアプリケーションの稼働率を99.9%以上に高めることに成功しているというから驚異のひと言だ。

従来の高可用性対策(システム障害の発生頻度が少ない状態)たとえばハードウェアの冗長化(スペアの事前準備)やバックアップ/リストア(バックアップデータの復元)では、アプリケーションをたえず利用可能な状態にすることが難しいという問題があった。しかし、コンティニューエンジンはこれら一般的な冗長化やリカバリーソリューションとは根本的に異なるアプローチを取り、ハードウェア障害やアプリケーション障害が発生しても、Windows上で稼働する重要な業務アプリケーションをつねに動作させ、サービス提供を継続できるように支援してくれる。

「落ちない」システムを実現!!
米国Neverfail社
「コンティニューエンジン」



ブロードのソリューションを求める来場者で会場が満席!!



(右から) 株式会社アイ・ティ・アールの入谷浩氏。ビジネスレジリエンスの重要性を語った/サービスダウンが許されないコンティニューエンジンソリューションが実現する高可用性について話した米国Neverfail社CEOブライアン・ヒールホルツァー氏/AI駆動によるペネトレーションテスト「RidgeBot」を紹介した米国Ridge Security社共同創業者社長リディア・チャン氏

このソリューションは、証券取引所、米国救急システム、大手通信企業、ECサイト、医療系システム、金融機関、小売業、公共機関など、サービスダウンが許されない多岐にわたる業界で採用されているという。NeverFail社の技術は、これらの組織が中断なくサービスを提供しつづけるための鍵となっているのだ。

完全自動化の侵入テスト システムでセキュリティ向上を実現!!

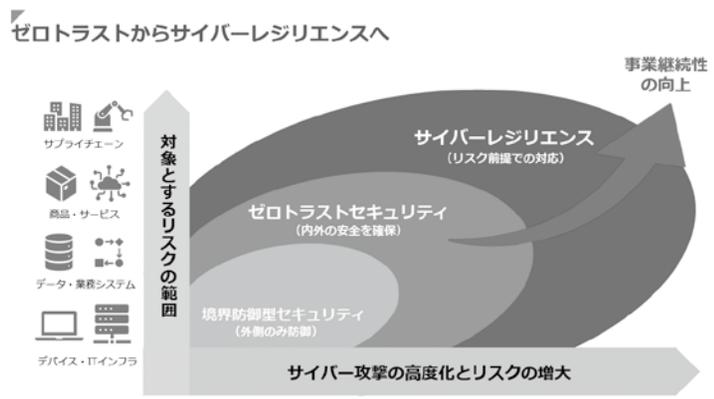
つづいて、米国Ridge Security社の共同創業者社長リディア・チャン氏がAI駆動によるペネトレーションテストの完全自動化について説明した。ペネトレーションテストとはコンピュータシステム、ネットワークなどに対して悪意のある外部攻撃者の立場から侵入テストを行うテスト。システムのセキュリティに穴がないかをチェックし、見つかった脆弱性を修正して、実際の攻撃から保護することを目的とするテストだ。

「RidgeBotは、Ridge Security社が開発したAIベースのペネトレーションテスト自動化ツールで、企業のサイバーセキュリティの弱点を自動で模

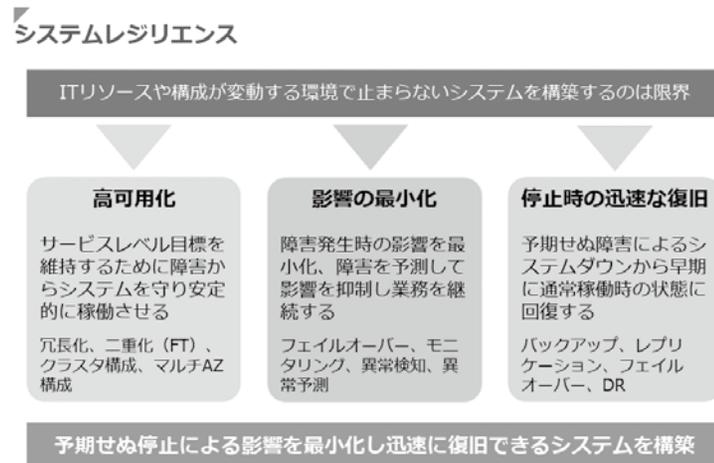
擬攻撃し、発見した脆弱性について、対策すべきことの優先度を含む診断結果を提示してくれる。継続的に自社のセキュリティを検証することができるため、脆弱性をリアルタイムで識別し、迅速に対応できるようにするという。さらにこのソリューションでは、最新の悪意あるハッキング手法や技術に関する情報を取得し、それを基にCVE脆弱性情報(※)やほかの有用な情報源から既知の脆弱性を確認する。また、テストに使用するための多様な最新のプラグイ

ン(別の機能を追加拡張するソフト)も提供する。専門家ですらついていくことが困難なサイバー攻撃の最新手法に対応することが可能となるのだ。これまで、セキュリティの専門家が時間をかけて行ってきたことを自動で実施してくれるから人的・時間的なリソースにかぎりがある企業にはもってこいのシステムだ。企業のセキュリティ態勢を継続的に強化し、サイバー攻撃から自社のシステムを守るには非常に有効なシステムといえる。

2023年に発生した名古屋港コンテナターミナルでのランサムウェアによるシステム障害は、およそ3日にわたりターミナルの操業停止を引き起こし、社会に大きな影響を与えた。まさに、リスクが発生しないことを目指すだけではなく、万が一リスクに曝された場合どのように対応するべきなのかを考えさせられる事案であった。(株)ブロードが提案するビジネスレジリエンスの強化は、これからの事業経営で避けることはできない課題である。



ITR COPYRIGHT © 2024 ITR CORPORATION. ALL RIGHTS RESERVED.



今回の講習でのテーマ「レジリエンス向上」は現代のビジネスに不可欠な要素だ

※CVE脆弱性情報……個別製品の脆弱性に対してCVEではまる識別子をつけて米国政府の支援を受ける非営利団体、MITRE社が新しい脆弱性情報の収集、整理、採番、公開する既知の脆弱性情報。

もう無駄な時間と費用は「0」にしましょう

HP Sure Click Enterprise

POWERED BY
 Bromium

おかげさまで Bromium は HP Sure Click Enterprise に進化しました

エンドポイントのサイバー対策に関する費用や専門家は、もう必要ありません。
100%* 防御し、レポートします。是非ブロードにお問い合わせください。

*2013年以降、Bromiumは推計20億以上のMicroVMが実行されましたが、侵害報告件数はゼロです。(Bromium社調べ)

詳細は「BROAD Security Square」で… <https://bs-square.jp/columbus>

株式会社ブロード
〒100-0014 東京都千代田区永田町1-11-30 サウスヒル永田町7F
TEL: 03-6205-7463 (代表)